

STEAM特講「地域デザイン」

目標

- ・ RESAS 等のツールを活用することで、ビッグデータを分析して課題発見ができる
- ・ 複数の課題の中から、より適切な課題に絞り込むスキルを身につけることができる
- ・ 自治体等が実践している施策と比較しながら、自らの取り組むべき課題を考えることができる
- ・ 課題をブラッシュアップさせ、解決するための道筋を考えることができる
- ・ 講座後の任意の活動を含めると、定量的データ（RESAS などビッグデータ）と定性的データ（フィールドワークやインタビュー調査）を組み合わせ、社会の一員として実現したい価値や理想の姿を描き、情熱をもって周囲に伝え、実現する力を育成する

事前課題

事前準備

- ・ 5 人×8 班に分けておく
- ・ プロジェクター、スピーカー、ポインター、付箋、模造紙

①	時間	内容
5	5 分	本講座の目的、本日の目標を説明
20	15 分	RESAS の使い方を説明（分かりやすい項目を説明） ・ 人口マップ→人口構成→表示レベル「市町村単位で表示する」（在住地域） →「人口推移」で年齢層別の人口推移がグラフ化 →「人口ピラミッド」で人口ピラミッドを簡単に表示 ・ 観光マップ→目的地分析 →「目的地ランキングを表示」※年、日、交通手段を変更できる →目的地の「出発地を表示」
50	30 分	RESAS で面白いデータを見つける 各自が見つけた面白いデータを班内で発表

②	時間	内容
45	45 分	人口規模の似ている 3 市を比較し、対象自治体の課題発見 （例：加古川市・明石市・宝塚市を比較し、加古川市の課題発見） ※人口、観光、医療、産業構造、雇用、特産品などから 3 項目以上 RESAS で表したグラフ等を切り取って、各自の Powerpoint ファイルに貼りつける →比較して考察できることを記載
50	5 分	提出方法などの説明

③	時間	内容
20	20 分	前回の課題である各班の 3 市比較・分析結果を発表 (ワールドカフェ方式)
50	30 分	ピラミッドチャートを用いて、課題の絞り込み →各自が付箋に課題を思いつく限り書き込む (ブレインストーミング) →各自が下段に貼りながら説明 →似ているものをまとめてグループ化 →下段の中から、良いものを中段に上げる (意義や実現可能性をもとに) →中段の中から、取り組む課題 (テーマ) を 1 つ上段に上げる

④	時間	内容
15	15 分	ピラミッドチャートを用いて、課題の絞り込みの続き →決まったテーマについて全体発表・協議
25	20 分	テーマについて、該当自治体の現状を調べる →課題の改善策について考えて発表資料を作成
50	15 分	班ごとに発表

事後課題

市役所等関係者へのインタビュー調査を実施し定性的データを集める

→ビッグデータからの定量的データと比較

→自身のアイデアのブラッシュアップ